

働く充実感味わう

津山商高（津山市山北）で21日、小学生が仮想の職場で仕事を体験する「キッズビジネスタウンつやま」と、高校生による大規模販売実習「津商モール」が開かれた。子どもたちは、来場した多くの家族連れらにお薦めの商品をPRしたり、笑顔で接客や業務に励んだりし、働く充実感を味わった。

飲食店や消防士体験ブース

希望職に児童挑む

「キッズビジネス」生のキャリア教育の一環として津山商高と津



津山圏域消防組合職員から消火器の使い方を教わる子どもたち



新聞記者体験をした児童は号外に載せる写真撮影もした

山商工会議所青年部が初めて開催。津山市内の4、5、6年生271人が参加し、各自選んだ3職種に挑戦した。校内を一つの町に見

立て、クレープや焼きそばといった飲食店やペットショップ、警察官、消防士などの仕事を体験する25ブースを望した会社に「就職すると、調理をしたり、一般客に「いかがですか」と売り込んだりと45分間働いた。給料としてイペント内で使える仮想通貨を「銀行」で受け取って一部を「税務署」で納税し、「ハローワーク」で転職も経験した。

津山商高で催し

防士は格好良かった。給料をもらえてうれしかったけれど、仕事は大変だと思った」と話した。山陽新聞社の多目的活動車「さん太号」も駆

高校生が元気に接客

「モール」野菜や雑貨販売



高校生が新鮮な野菜などを販売した「津商モール」

津山商高生徒が仕入れや販売、会計といったビジネス知識を学ぶ「津商モール」は、2、3年生を中心に地元企業、団体の協力を得て計20ブースを開設。新鮮な野菜や魚介類をはじめ、雑貨や日用品、県内外の高校生が開発したデザートなど多彩な品目を並べた。

会場は「地元産野菜、安いですよ」といった生徒の呼び込みの音が響き、活気にあふれた。「元気の接客を心掛けた。お客さんとの関わり方などを学び、将来に生かしたい」と国際ビジネス科3年木村玲音さん(17)。シクラ

け付け、新聞記者に挑んだ児童たちの撮影写真などを載せたカラー号外を発行した。(田井香菜子)



新聞記者に挑んだ児童たち

津商モールは、同高が2009年から開き7回目。(田井香菜子)